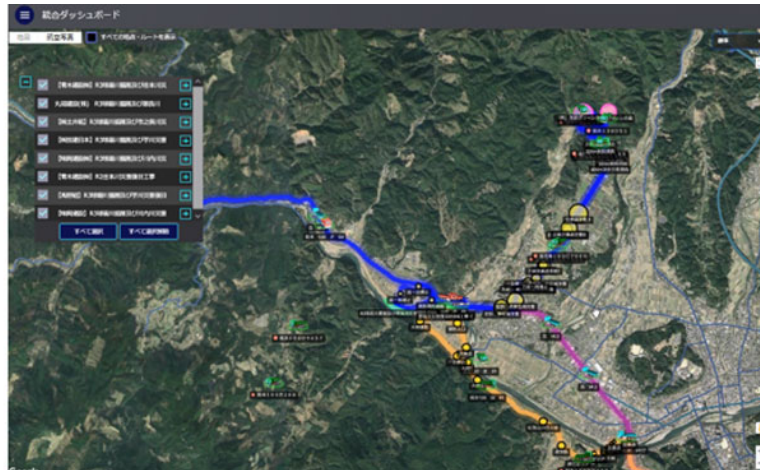


熊本県 球磨川掘削及び支川災害復旧工事安全協議会 様

#718

全現場の動きが見える！統合ダッシュボードでの管理に挑戦！



リスクの芽を摘む！ 安全協議会全体での運用開始

■■ 現場詳細 ■■

熊本県球磨郡

令和2年7月に球磨川流域で発生した豪雨
災害の災害復旧工事

【ソリューション】

Smart Construction Fleet

■■ 導入経緯 ■■

国土交通省 九州地方整備局

八代復興事務所 建設専門官 梅田真吾さん

災害復旧工事のため、毎日300台ほどの
ダンプが行き交うことが最初からの課題
でした。ある日ダンプの通行に関して1
件の苦情が入り、その場所を通過してい
る数社に状況確認を行いました。ほとん
どが苦情時のダンプの運行に関して明確
な証明ができない中、その内の1社が
Smart Construction Fleetを導入して
いたことから、運行記録により苦情があ
った時間にその場所になかったことが
証明されました。この実績を6社9現場が
集まる安全協議会で情報共有したところ
、各現場が導入メリットを感じ、安全
協議会に参加する全ての現場でSmart
Construction Fleetを導入することにな
りました。また、Smart Construction
Fleetの機能の一つである統合ダッシュ
ボードを活用し、全現場でお互いの運行
状況を把握できるようにしました。



建設専門官 梅田真吾さん



工務第一課 工務第二係長 樺嶋恭平
さん

熊本県
球磨川掘削及び支川災害復旧工
事安全協議会 様

本協議会は球磨川掘削及び支川災害復旧関連工
事にて、地元住民及び工事等施工業者との連絡
調整を行いながら公衆災害や労働災害を防止す
る処置を講じ、災害防止のために総合的に推進
することを目的とする。

掲載月:2022年7月

労力削減、安全意識向上に！ 工事全体での活用を期待

■■ 導入効果 ■■

国土交通省 九州地方整備局 八代復興事
務所

工務第一課 工務第二係長 樺嶋恭平さん
今回は安全協議会に参加する全ての現場
がSmart Construction Fleetを導入し
たのがポイントで、1現場でも欠けてい
たら統合ダッシュボードの有効活用がで
きませんでした。発注者としては、渋滞
しそうな場所でダンプが連なっていない
か、指定外の待機場所にダンプが待機し
ていないかなど、これまでは直接現地に
出向いて確認する方法しかありませんで
したが、導入後は職場のモニターでダンプ
の運行状況を確認できたため、大きな
労力削減となりました。また、これまでの
主なダンプの運行状況の管理方法とし
ては、各現場のダンプが何台で何回走っ
ているかという台数管理くらいだったの
ですが、導入後はダンプの走行履歴など
も確認できるため、苦情が入った際にす
ぐにアプリを見て迅速に対応できるよう
になった点も良かったです。なお、現時
点ではダンプの事故が発生しておらず、
Smart Construction Fleetがダンプ運
転手の安全意識の向上に良い影響を及ぼ
していると考えています。今後も工事は
続いていきますので、引き続き当安全協
議会での活用はもちろん、このようなア
プリの活用が図られていくことを期待し
ています。

